

# 宮陵会報

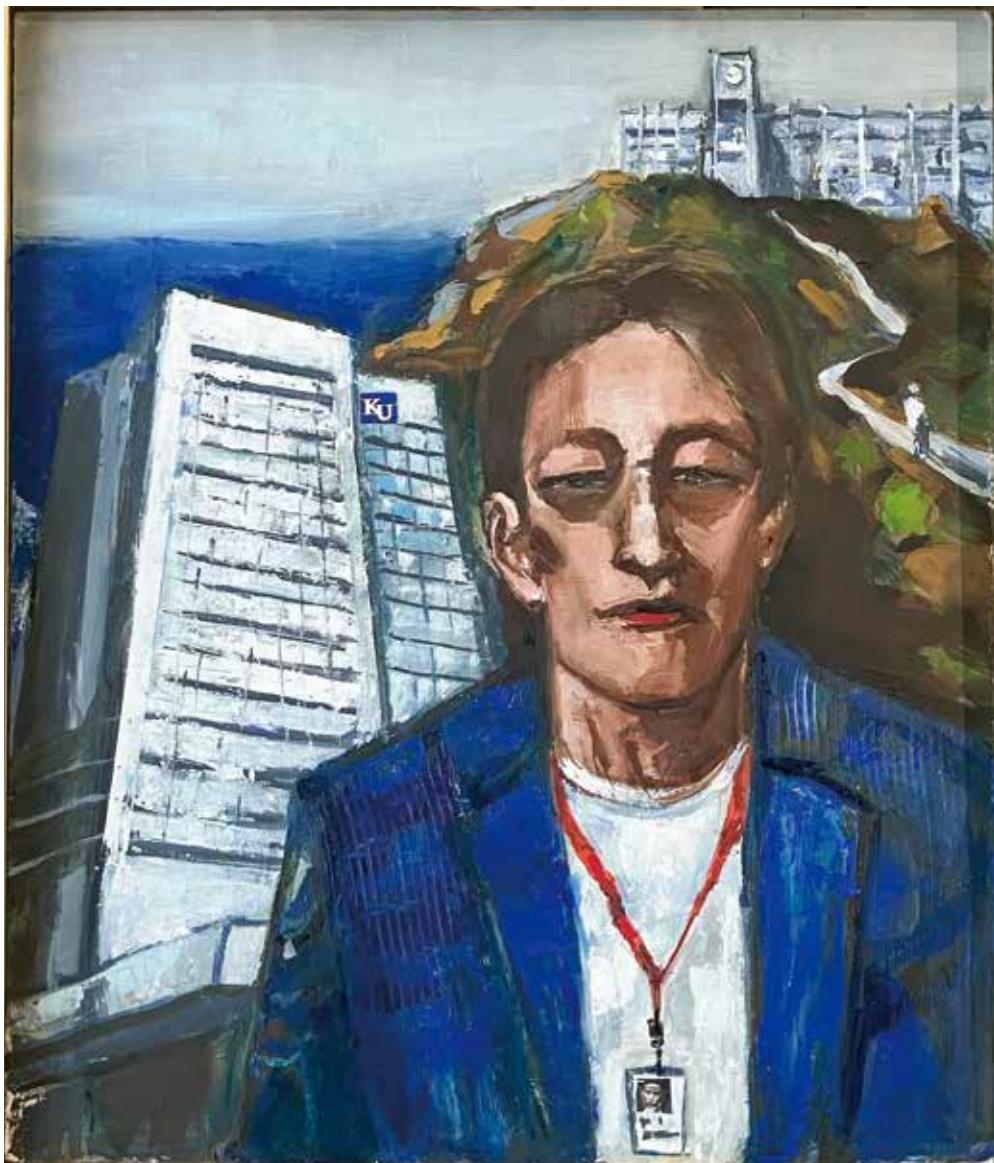
# Kyu-Ryo

2025・12  
(令和7)

No.121

一般社団法人  
神奈川大学宮陵会  
広報委員会

〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学内  
TEL 045-481-5661  
(内線 2451~3)  
FAX 045-413-0791  
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



岸本凌幾「希求」10号F 2025年

## 目次 No.121

会長あいさつ、宮陵会主催事業報告	P2
事務局からのお知らせ、建築サークルKAIの活動報告	P3
神大トライアスロン部への応援メッセージ	P4
ブロック会(北陸)開催報告	P5
活躍する卒業生(澤野正明さん)、卒業生の本	P6
活躍する卒業生(山崎至さん)	P7
活躍する卒業生(石神直哉さん)	P10
活躍する卒業生(宋在赫さん)	P11
Kyu-Ryo photo gallery(庵原邦寛さん)	P8
神大水泳部が始める社会とのつながり(水泳部ヘッドコーチ 横山貴さん)	P9
神奈川大学からのお知らせ	P12
卒業生の声(和田英光さん、森田寛さん、岡村光惟さん、中村利夫さん、浦晴雄さん、志村雄偉さん)、掲示板など	P13 ~ P15
東京箱根間往復大学駅伝競走応援ガイド	P16

# 私の大学創立記念日の迎え方

会長 内田 青藏



毎年5月15日は、神奈川大学の創立記念日である。学生時代は、創立記念日といわれても何

もピンと来なかつた。しかも他校は休日となることが多かつたが、神大は休日ではなく、残念と思っていた

ようにも記憶している。

しかし、だんだんと年を取り、また、私のように母校に教員として戻

ると、この創立記念日という日がやけに気になる存在となつた。創立記

念日という言葉を聞くと、自然に学生時代のことが頭の中に蘇り、友人たちとの思い出が沸々と沸き起つて來るのである。そんなこともあつて、私にとっては、創立記念日は大学時代を思い起こす日となり、また、あの頃に戻りたいという思いを強くする日となつてしまつた。そして、いつ頃からか忘れてしまつたが、この創立記念日という日を大切な日にして、大學カラーとして知つていた



そこで提案。皆さんも、創立記念日には青色のものを纏つてみませんか？ひょっとすると、青シャツのすぐ違つた人が、心の中で創立記念日を祝つている同窓の人かもしれませんね。



第31回ホームカミングデー  
2025が開催された11月2日、横浜キャンパスの宮陵会館（30号館）

で宮陵会主催の弁護士、税理士、行政書士、社会保険労務士など「士職」に携わる卒業生が相談員となつた「なんでも

## なんでも無料相談会を開催した



無料相談会が開かれた（写真。前年度は休止中）、この日に集中して、多くの卒業生に役立つ相談会となつた。

## ジャズコンサートが開かれた



サートは、神大英語英文学科卒業後、約15年間ロサンゼルスを拠点にジャズピ



本真純（マスミ・ヤマモト）さんがロサンゼルスで結成した「TLQ PLUS」と共演。開演前には神大や明治学院大のジャズを研究する

アーティスト・作曲家として活躍し、現在は生まれ故郷の新潟県長岡市を拠点に日本全国に活動の幅を広げているMasumi Yamamoto（山本真純）さんがロサンゼルスで結成した「TLQ PLUS」と共演。開演前には神大や明治学院大のジャズを研究する

アーティスト・作曲家として活躍し、現在は生まれ故郷の新潟県長岡市を拠点に日本全国に活動の幅を広げているMasumi Yamamoto（山本真純）さんがロサンゼルスで結成した「TLQ PLUS」と共演。開演前には神大や明治学院大のジャズを研究する

## 宮陵会事務局からのお知らせ

## ◆会議予定

理事会 2026(令和8)年2月7日(土)  
3月7日(土)  
3月28日(土)予備日

## ◆年末年始休暇

2025(令和7)年12月28日(日)～2026(令和8)年1月6日(火)

## ◆地域組織新代表者紹介

富山県宮陵会	昭45経	佐地 剛 様
群馬東毛宮陵会	昭57建	武井智明 様
保土ヶ谷・旭区宮陵会	昭56経	河野 寛 様
弓道部OB・OG会宮陵会	昭59賀	松坂宏昭 様
ヨット部OB会	昭57法	清田 亨 様
男子ラクロス部OB宮陵会	平7 経	古川正知 様

## ■訃報 謹んでお悔やみ申しあげます。

2025(令和7)年6月1日  
池田靖宏 様(昭39工経) 京滋宮陵会顧問・前会長



## 表紙のことば

題名「希求」(2025年11月制作 油彩10号F)

宮面ヶ丘に建つ歴史と伝統ある神奈川大学の横浜キャンパス。みなとみらいに輝く新しいキャンパス。その中で青年は学び、夢を膨らませ、前途に向かい、直視する。  
岸本凌幾  
(1967年法学部法律学科卒、二紀会会員、日本美術家連盟会員)

■絵はデッサン、構図、色彩から成り立っています。皆さんのが絵を見て上手だと直感に思うのは、デッサンがよく描けている証左です。作品のデッサン力を楽しみましょう。(岸本)

## ◆事務局よりのお願い

## 【会費納入について】

宮陵会の安定的な運営のため、会費の納入をお願い致します。会費が未納の場合は、会員資格が「普通会員」となり、代議員となる資格がなくなる場合があります。

また、これまで『宮陵会報』は住所判明している会員の皆さん全員にお送りいたしておりましたが、前号でお知らせいたしましたように、『宮陵会報』(No.121)から正会員に限定してお送りすることとなりました。

「会費納入について(お願い)」は、8月発送の『宮陵会報』(No.120)とともにお届けしております。個々人の納入金額等が明記されておりますので、いま一度ご確認をお願い申し上げます。

## 【住所等の変更について】

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、ご連絡をお願い申し上げます。

## ①神奈川大学ホームページ

卒業生登録情報登録・変更のご案内  
([https://www.kanagawa-u.ac.jp/alumni\\_menu/registration/](https://www.kanagawa-u.ac.jp/alumni_menu/registration/))

## ②FAX 045-413-0791

③E-mail  
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



※登録いただきました情報につきましては、皆さまの個人情報の重要性を深く認識し、個人情報保護方針に従い適正な保護管理に努めています。

Topics

## 神大サークル・ゼミサミットで「KAI」が3位受賞

建築サークルKAIは、今年6月に発足した学生団体です。「建築」を通じて人と社会を繋ぎ、持続的に貢献することを目的に活動しています。

10月の神大フェスタでは、大阪・関西万博ワクショップの紙管建築を移設し展示。初出展ながらサークル・ゼミサミットで3位を受賞しました。

現在は建築や展覧会見学、模型製作、コンペ参加などに加え、建物の改修や再生活動にも挑戦しようとしています。まだ本学付近に学生の居場所をつくろうと物件を探している段階です。しかし、資金不足により活動拡大が難しいので、卒業生の皆さんには志ある学生の挑戦を支えて頂ければ幸いです。

(刑部晃希 KAI 会長、建築学科3年)



神大フェスタ紙管建築展示の前でサークル仲間と  
(後列左から4人目が本人)



# 「声援がむすぶ 香川県観音寺の縁ときぎずな」

9月に香川県観音寺市で行われた日本学生トライアスロン選手権観音寺大会（インカレ）に出場した神大トライアスロン部の選手、その応援に駆け付けた前香川県宮陵会会長や同市在住の卒業生からメッセージが寄せられました。紹介します。（編集部）



神大で唯一のエントリーの橋本選手（右）

## △神大体育会トライアスロン部

藤井龍生

（人間科学部人間科学科2年）

トライアスロンは、水泳・自転車・マラソンを連続して行う競技です。通常は水泳1.5キロ、自転車40キロ、ラン10キロを行い、約2時間を使います。試合は4～10月に全国で開催され、6月の関東学生選手権（関カレ）、9月の日本学生選手権（インカレ）が主戦場です。目標は関カレ団体3位以内、インカレ団体10位以内。イン

カレは2007年から香川県観音寺市で行われ、毎年、香川県宮陵会の皆さまの大応援団から手厚いサポートをいたしております。熱い声援は選手の力となります。試合後には恒例の慰労会も開かれ、観音寺の卒業生の方々との温かな交流の場となっています。個人競技の側面が強い一方で、仲間と練習やレースを共にし、応援を受けて戦うことにチームらしさがあります。今年は1名の出場にとどまりましたが、来季は自分自身を含め多くの仲間とともにこの舞台に立てるよう頑張っています。

## △観音寺市在住の合田勇三さん

（1989年経済学部経済学科卒業）

私は観音寺市在住の卒業生として、毎年この日を心待ちにしています。とりわけ母校・神大の選手が懸命に戦う姿には自然と声が大きくなり、応援する喜びを実感します。試合後の慰労会は今年で3回目ですが、市内在住の卒業生と現役学生が交流する貴重な機会として毎年楽しみにし

日本学生トライアスロン選手権観音寺大会を本県宮陵会の応援事業に位置づけて今年で15年になります。当初はまだ観戦機会の少ない競技にもかかわらず、13人が応援に駆けつけ、間近で見る大会に心躍らせたものです。この大会は、特にここ数年炎暑下で行われ、選手たちにとつて



部員と卒業生が集う、試合後恒例の慰労会

## △前香川県宮陵会会長の中村郁夫さん

（1975年経済学部貿易学科卒業）

は苛酷な状況での戦いになつています。このような中、戦いに挑む後輩たちの真っ直ぐな視線は、私たちが忘れていた大切なものを教えてくれます。後輩たちを応援できることは誠に刺激的であり、私たち一人一人が秘める母校愛こそがこの縁を繋いでくれているのです。どうか関東地区予選を突破し、このインカレのステージで躍動する姿を見せてください。私たちは精一杯君たちを応援します。



締めくくりに、名残惜しさを胸に笑顔で



# 富山県宮陵会主管の北陸ブロック会が開かれる

地域組織同士の交流を図り、その活動に役立つ情報交換を行うための組織として、宮陵会には広域地域を単位とした「北海道ブロック会」や「東北ブロック会」、「北陸ブロック会」、「近畿ブロック会」、「中国ブロック会」、「四国ブロック会」、「九州・沖縄ブロック会」、「神奈川県ブロック会」があります。それぞれのブロック会は年1回交流会を開催しています。今回はそのうち9月に行われた北陸ブロック会の様子を紹介します。

(宮陵会広報委員 原柳作)

福井県から6人、石川県から7人、そして富山県から28人の会員と学生5人、大学や宮陵会本部から総勢54人が参加した北陸ブロック会が9月27日、JR富山駅近くのホテルグランテラス富山で開かれた。

ブロック会直前に開かれた富山県宮陵会総会で黒田勲会長（昭和39年経済卒）から交代したばかりの新会長・佐地剛さん（昭和45年経済卒）は「北陸新幹線のおかげで北陸3県は1時間で結ばれた。昨年、大学時代のゼミ仲間とみなとみらい及び横浜キャンパスを訪ね、立派になつた建物にびっくりした。北陸ブロックとして母校を訪ねる事業を計画したい」とあいさつした。

来賓の坂本郁夫神大常務理事（昭和52年工経卒）は、かつてゼミの先生から教えてもらつた

「20年後の社会



がどうなつているかを想像して就職先をえらぶ大切さ」を学生に説いたほか、創立100周年後のビジョンづくりや、社会連携を深めることの大切さなど現在大学が取り組む内容を熱心に語った。原柳作宮陵会副会長（昭和46年英文卒）は「大学創立100周年の寄付金目標額1億円の達成見込みや、前年2027年の宮陵会設立90周年の具体的事業の検討も始めた」ことなどを報告した。

次いで、福井、石川、富山の各宮陵会代表がそれぞれが取り組む事業を報告した。記念講演会では、勝又章好陸上競技部駅伝チーム副部長（神大入試事務部長、平成5年応化卒）が「わが駅伝チームの沿革について」と題し、この日のために自ら編集したビデオを放映しながら、選手の練習風景や新合宿所の完成予想図などユーモアを交えながら紹介した。

懇親会では、商品券やホテル宿泊券などの当たる抽選会や出席者全員

が自己紹介したほか、全員で校歌や応援歌の齊唱も行い、坂本常務の万歳三唱で懇親会を終えた。

参加者が自己紹介で「大学で学び、そして卒業し、社会で活躍した後に、また宮陵会で活動する（卒業生同士が交流する）」サイクルは、潤いのある人生には欠かせないものだ、という言葉がとても印象に残った。



北陸ブロック会に参加した仲間の皆さん（9.27 ホテルグランテラス富山）



# 都会への憧れから始まった挑戦

株式会社エルティイ会長 澤野 正明（66歳）

高校3年生の頃、夢はなく、ただ都会に憧れていきました。授業料が比較的安く、学生寮も完備していた神奈川大学。名古屋で地方試験を受け、いざ横浜へ。豊橋から新幹線に乗り、新横浜で下車した瞬間、「ここが憧れの大都会・横浜？ 豊橋駅よりも小



西伊豆に社員旅行した際の記念写真 (2017.6)

さい！」と驚いたのを今でも覚えています。こうして私の学生生活4年間（実際は5年間）が始まりました。卒業後は、当時“ブラック”と呼ばれていたIT業界へ。平成3年1月、先輩と会社を立ち上げましたが、バブル崩壊の年でもあり、多くの方から「今はやめた方がいい」と忠告を受けました。それでも猪突猛進（先輩もイノシシ年生まれ）。案の定、仕事は激変。そんな時、大学時代のクラブ（高分子化学研究部）で知り合った後輩S君に助けられました。学生時代は隣のアパートに住み、今でも続く45年の縁。彼の紹介で仕事を得て、苦境を乗り越えました。

その後は毎年新卒採用を行い、会社は順調に成長。しかしリーマンショックが襲い、ここで支えてくれたのは社員たち。地道な努力が信頼を生み、誰一人りリースされることなく乗り切ることができました。

創業35年を迎えた今年、



社長退任時に社員から花束を贈呈される (2025.7)

さあ！」と驚いたのを今でも覚えています。こうして私の学生生活4年間（実際は5年間）が始まりました。卒業後は、当時“ブラック”と呼ばれていたIT業界へ。平成3年1月、先輩と会社を立ち上げましたが、バブル崩壊の年でもあり、多くの方から「今はやめた方がいい」と忠告を受けました。それでも猪突猛進（先輩もイノシシ年生まれ）。案の定、仕事は激変。そんな時、大学時代のクラブ（高分子化学研究部）で知り合った後輩S君に助けられました。学生時代は隣のアパートに住み、今でも続く45年の縁。彼の紹介で仕事を得て、苦境を乗り越えました。

振り返れば、数えきれない人たちの支えがあって今があります。会社を手放す寂しさを感じる今日この頃ですが、感謝の気持ちでいっぱいです。



さわの・まさあき  
愛知県出身 昭和58(1983)  
年工学部応用化学科卒業。  
平成3(1991)年IT企業設立。  
令和7(1995)年社長を退任し、現在は会長。

## 『別冊法学セミナー新基本法コンメンタール 借地借家法(第3版)』

●日本評論社刊 4,300円(税別)



### 藤井俊二ら31人が執筆

私は、神奈川大学法学研究部で借地借家法に属して勉強を始めて以来、借地借家法の研究がライフワークです（藤井古稀祝賀論文集「土地住宅の法理論と展開」（成文堂）の研究業績一覧参照）。本書（初版2014年）では、借地権の更新を保障する正当事由に関する借地借家法6条と借地法4条・6条の注釈を担当しました。

欧米諸国に比して著しく借地が多いわが国では借地権の消滅をめぐる紛争は多く、判例も多数である。本書では、どちらかといえば一般条項的である条文の内容を判例の整理によって正当事由の具体化に努めました。現役を退いた現在では判例の収集が困難ですが、幸い、若い研究者の協力を得て何とか改訂することができました。（藤井）

著者の藤井俊二氏は昭和46年神奈川大学法律学科卒で宮陵会理事、創価大学名誉教授、日本地籍学会理事長



# 富山から、母校を想い

株式会社開進堂 常務取締役富山支店長

山崎  
至  
(44歳)

やまさき・いたる  
1981(昭和56)年富山県生まれ。2004(平成16)年経営学部国際経営学科卒業。日本ピュアフード、パナソニックリビングを経て、2012(平成24)年に電気・機械設備の設計施工を行う株式会社開進堂に入社。

都会で一人暮らしがしたい。そん

都会で一人暮らしがしたい。そんな軽い気持ちで、高校で生徒会長をやつたという武器だけ持つて受けた自己推薦入試でなんとか合格し、神大平塚キャンパスへ。富山に住んでいた頃よりも遙かに山奥の、まさかバス通学中に牛の匂いが漂う場所に学校があるなんて思いもしませんでしたが、自然あふれるキャンパスで4年間を過ごしました。軽音楽部に所属しバンドを組んだり、食べ歩き旅行サークル「道祖神」でグルメ巡りしたり、決して勉強を頑張ったとは言えませんが毎日学校に行くのが楽しく、充実していました。

教授のゼミナールに所属し、ゼミ長をさせてもらひながら国際マーケティングを学んだことです。自分たちで企画し、日本企業と海外企業の違いを学ぶ年に一度の海外研修では、

動をしました。ワークライフ・バランスを捨て馬車馬のように働き（笑）、社運をかけて発売した陶器ではないトイレを日本で一番売った経験は、今でも私の誇りです。

振り返ると私という人間は神大で  
の出会いと経験に支えられてきました。  
た。数年に一度ではありますが、今  
でもゼミの仲間やバンドメンバー、

4年生の時にロサンゼルスへ行きました。野茂英雄を観られてよかつた…ということではなく（笑）、国際感覚を学ぶと共に、リーダーシップを取りながらのゼミ運営は、現在の取締役としての会社運営に活きております。

卒業後は就職氷河期の中、入社できた会社は半年で挫折しましたが、その後パナソニッククリビングに入社

現在は生まれ育つた富山で、電気・機械設備の設計・施工を行う会社を常務取締役として経営しております。街のランドマークとなる建造物に関わることのできる仕事で、とてもやり甲斐を感じています。天井裏や床下など、完成後には見えなくなる作業が多いですが、コツコツと丁寧に仕事を続けており、電気設備工事業者としては県内トップクラス

サーケル仲間との交流があります。彼らの存在や頑張りが、今の私を支えています。「負けてられない、みんな頑張ってるんだからオレもやんなきや」。そんな思いはずっとあります。2019年より富山県宮陵会の役員をさせていただいています。これらも母校との繋がりを大切にしていきます。

私の中で大学時代に一番大きかつたことはティオフイラス・アサモア

卒業後は就職氷河期の中、入社で  
きた会社は半年で挫折しましたが、  
その後パナソニッククリービングに入社  
でき、神奈川県内で住宅建材や設備  
機器を中心とした販売営業活動

る作業が多いですが、コツコツと丁寧に仕事を続けてきており、電気設備工事業者としては県内トップクラスの実績を誇ります。我が社の強みは人材です。リーマンショック後で



### 趣味の漫才を演じる(左)



## 施工に関わった富山県美術館



## 施工に関わった富山県立大学中央棟



最後の平塚祭で（左から2人目）

売り上げが落ち込んだ時のワークシェアや、新型コロナウイルス対策としての時差出勤や在宅勤務などを導入するなど、社員の協力を得て人員整理をせずに乗り越えました。人を大切にする経営が、お客さまからの信頼につながっていると考



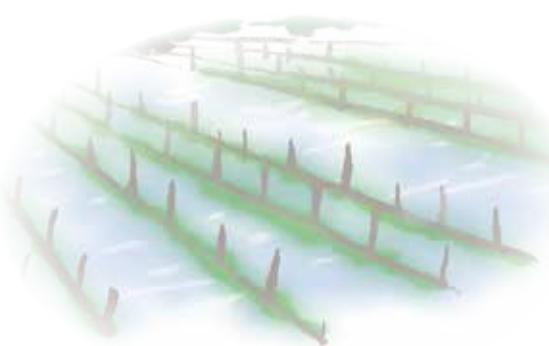
アサモア先生をしのぶ会で



文・撮影／庵原邦寛（1969（昭和44）年貿易卒）

2024年日本写真協会主催の写真コンテストで「環境大臣賞」を受賞しました。これがその写真です。写真のタイトルは「海苔の種付け風景」です。

海苔の種付けと申しましても、ご存じの方が多いと思いますが、海苔の養殖の工程の一つです。私の写真は熊本県宇土市長浜海岸で11月初旬に撮影しました。この養殖は海苔の胞子が付着した牡蠣殻を網に仕込み、海水温が23度以下になる大潮を狙つて海に広げます。この作業は海苔養殖の本格的なシーズンの開始を告げる重要な工程で、有明海の風物詩となっています。色鮮やかなこの海苔網は海のパッチワークを思わせる美しさです。



# 神奈川大学水泳部が始める社会とのつながり――

神奈川大学スポーツ戦略室 水泳部ヘッドコーチ

横山 貴

神奈川大学に着任し、監督の舟橋（経営学部95年度卒）と共に16年目を迎えた今年、第101回日本学生選手権水泳競技大会（以下、インカレ）において昨年に続く女子総合優勝（2連覇、通算4度目）を果たすことができました。

毎年、インカレにはさまざまなドラマがあり、今年は女子の活躍だけで無く、男子が創部初となる4×200メートルリレーの決勝進出を果たし、新神奈川大学に残すこと回を超えるインカレは、東京箱根間往復大学駅伝競走と同じ歴史を持ちます。こ

のような歴史と伝統がある競技会において、強豪校と肩を並べるところまで成長してきた男子の成果はとてもうれしい話題であり、卒業生の皆さんと共に喜べる出来事です。

今回、女子総合優勝においては、4×100メドレーリレーで優勝を果たし、昨年はあと一歩のところで栄冠を逃した種目を見事勝ち取ることができました。また、長岡愛海（経済学部2年）は100、200メートルリレーの決勝進出を果たし、新神奈川大学に残すこと回を超えるインカレは、東京箱根間往復大学駅伝競走と同じ歴史を持ちます。こ

ド権獲得となります。2028年の大学創立100周年に向け、さらなる神奈川大学の歴史を一つ一つ積み重ねていきたいと思います。

少し話は変わりますが、近年、地

球温暖化や教員不足、プール老朽化などにより、小学校での水泳授業が減少しつつあります。1964年東京五輪後に整備が進んだ「国民皆泳」の流れは途絶えつつあり、水辺での事故増加も懸念されます。

本学水泳部では競技力向上に加え、社会課題への貢献も重視しています。本年度から地元・横浜市神奈川区で「泳げない子ゼロ」を目指す

活動を開始しました。これは、子どもへの水泳指導に加え、小学校教員への再教育を行う「リカレント教育」の一環です。6月には約80名の教員

を対象にプール開き前の授業を実施しました。今後は横浜市教育委員会と連携し、防災や水文化教育へと発展させ、「横浜モデル」として定着を目指します。

「この街には神奈川大学がある」。私たちとはトップチームを目指す強化と、子どもたちの未来を支える教育の両立を通じて、次世代へと水泳文化を引き継いでまいります。



長岡選手メダル



小畠選手メダル

神奈川大学水泳部は1930年創部、2005年に強化指定部、2017年より重点強化部に法人より指定されました。2012年に初のシード権を獲得して以降、競泳界で存在感を高め、本年で14回目のシ



コーチ集合



全体会合



メドレーリレー陣集合

# 「ピッチから地域へ。笑顔のリハビリを全国に」

株式会社HLC 加盟開発部 石神 直哉（40歳）



茨城県神栖市で生まれ育った私は、幼い頃からボールを追いかけていました。鹿島高校では日々練習に励み、インターハイや全国高校サッカー選手権に出場することができました。卒業後は神奈川大学経済学部へ進学。学業・サッカー・アルバイトに追われる毎日を過ごしました。

サッカー部では土のグラウンドで仲間と切磋琢磨し、神奈川県リーグから関東2部リーグへの昇格を果たしました。卒業後は週5日居酒屋で働き、卒業後は神奈川大学経済学部へ進学。学業・サッカー・アルバイトに追われる毎日を過ごしました。

練習や試合後は週5日居酒屋で働きました。お客様との会話や気配りを通じて「人に喜んでもらうことの楽しさ」を実感し、社会に出てからの人間力を養う場でもありました。授業・サッカー・アルバイトで出会った多くの人々が、今でも私の財産です。振り返れば、神奈川大学で過ごした4年間が、私の人生の「土台」を築いてくれたと感じています。

大学卒業後の2007年、鹿島アントラーズに入団。1年目から試合に出場し、リーグ制覇に貢献できることは私のキャリアの出発点でした。以降、セレッソ大阪、湘南ベルマーレ、大分トリニータ、東京ヴェルディ、V・ファーレン長崎、ギラヴァンツ北九州、FCマルヤス岡崎、FCティアモ枚方と全国9クラブを渡り歩きました。どのクラブにも熱いファンと温かい仲間がいて、「チームの力を信じること」を学びました。

サッカー部では土のグラウンドで仲間と切磋琢磨し、神奈川県リーグから関東2部リーグへの昇格を果たしました。

各地域でお世話になつた方々や、「神大」という共通点から仲良くなれた年上の大先輩方とのご縁は、今でも大切な財産です。

現役引退後は株式会社HLC 加盟開発部で、リハビリ特化型デイサービス『ソレイルミナーレ』のフランチャイズ展開を担当しています。スポーツを通して感じた「身体を動かす喜び」を、今度は高齢の方々に届けたい—そんな思いから介護・リハビリの世界へ進みました。全国24店舗に広がる施設では、明るく開放的な空間で心身の健康を支えるサービスを提供し、"もう一度自分らしく輝く"場所づくりを目指しています。

サッカーも介護も、チームワークがすべてです。ピッチで学んだ挑戦の精神を胸に、これからも人と地域を笑顔にする活動を続けていきます。



事業所



いしがみ・なおや  
1985年茨城県神栖市生まれ。2007(平成19)年神奈川大学経済学部卒。同年鹿島アントラーズ入団後、9クラブで14年間プレー。2020(令和2)年現役引退。現在は株式会社HLC 加盟開発部でリハビリ特化型デイサービス「ソレイルミナーレ」を全国に展開中。

# どんな出会いも「ご縁」と捉え大切に

**株式会社NHC横浜本部 本部長 宋 在赫 (48歳)**



そう・ざいいかく  
1977(昭和52)年横浜市生まれ。1999(平成11)年に神奈川大学理学部応用生物科学科を卒業後、株式会社NHCに入社。本社は愛知県名古屋市。NHC社名の由来はN=Natural(自然)、H=Health(健康)、C=Communication(ふれあい)のそれぞれの頭文字をとったもの。経営理念に感銘し入社、26年間営業畑一筋。現在は横浜本部本部長として、神奈川・静岡・山梨の3県の営業の責任者として約100人の仲間とともに日々奮闘中。そして新たな仲間も絶賛募集中(笑)詳細はHPで。

就職氷河期に就活。当時は就職情報誌の情報を基に就活でした。後から考えるところも「ご縁」で、当時の実家と弊社NHCの関東本部が徒歩3分の距離、最寄り駅も一緒。通学時には最寄りの駅で当時の本部長とバツタリ会うと言うようなことも。ご縁あって入社。転職することなく(一度も考えたことがない)NHC一筋。振り返ると26年もの月日が流れていきました。いろんなことが走馬燈のように思い出されますが、なかでも最も印象深かったのは、自ら志願して転勤した鹿児島や北海道での営業でした。言うまでもなく鹿児島・北海道での営業が自身を大きく成長させてくれました。新しい土地でゼ



鎌倉の鶴岡八幡宮の例大祭で(左)

ロから人間関係を築くことは決して簡単ではありませんし、新しい土地での営業は難題ばかり。ただ当時の上司に、難題があるから「有難い」、難題が無いのは「無難」というアドバイスをもらい、それからは難題や逆境、ピンチに見舞われても「有難い」と乗り越えてきました。また、どんな出会いも「ご縁」と捉え大切にしてきました。結果として、そうしたご縁が今の自分を支える大きな財産になっています。

仕事では「決めたことをやり抜くこと」をモットーにしています。簡単ではない課題ほど燃える性格で、チームで同じ目標を達成できた瞬間の喜びは何度味わっても格別です。立場や環境が変わつても、挑戦を楽しむ気持ちだけは忘れずにいたり思っています。



静岡マラソン2025

は地元・横浜マラソン。そこから数多くの大会に参加しています。そして去年からはウルトラマラソンにも挑戦。今年4月に初めて、富士五湖(山中湖→河口湖→西湖→本栖湖→精進湖を周る)120キロを走破したときの達成感は今でも忘れられません。現在は「47都道府県でフルマラソンを走る」という目標に取り組んでおり、各地での出会いや景色、観光を楽しみながら仲間とランを楽しんでいます。

また、数年前からは「年齢の数だけ初体験にチャレンジ」をテーマに、SUP(スタンドアップパドルボート)、サーフィン、蕎麦打ちや神輿担ぎ、ラグビー観戦など、日常の

中にも新しい刺激を取り入れています。毎年リセットされ初体験が増えしていくので大変ですが(笑)。「やらずに後悔するなら、やつて後悔する」。この言葉を胸に、これからもご縁を大切にしながら、仕事も人生も全力で楽しんでいきたいと 思います。在学生の皆さんも今しか 経験できない事に全力で取り組みま しょう!

最後に、今回このような機会をくださった宮陵会とのご縁に改めて感謝申し上げます。



チャレンジ富士120kmゴール後

■ 神奈川大学創立100周年記念基金

## 「スポーツアスリート育成募金」

(陸上競技部駅伝チーム)

箱根駅伝予選会の応援、ありがとうございました。

2027年7月に本学陸上競技部

駅伝チームの合宿所が中山キャンパスに誕生します。皆さまのご支援、よろしくお願いします。



2027年7月完成予定の陸上競技部駅伝チームの合宿所(完成イメージ)



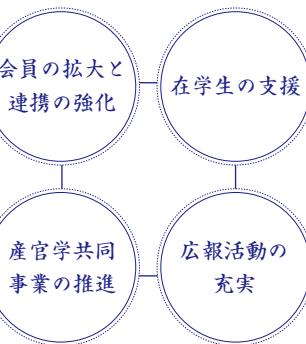
みなとみらいキャンパス

故・村橋三好氏(昭和14年貿易卒)から大学に提供された寄付金を基に1993(平成11年)「村橋・フロンティア奨学基金」が創設されました。この基金にフロンティアクラブからの寄付金を充て、給付型奨学金を拠出しています。

▽具体的な活動内容  
①「村橋・フロンティア奨学金」の運営

個人で10万円以上寄付してくださった方(限定2,000部)に、神奈川新聞のコラム「わが人生」に掲載された大後栄治前監督の全記事収録の小冊子をプレゼント。

QRコード  
寄付申込専用ページ



神奈川大学フロンティアクラブは卒業生団体の一つで、各界や専門職として社会を牽引する卒業生を中心とした会員制の有志の会です。母校の充実発展に物心両面にわたり寄与するという目的から、創設時に掲げた4つの目標を事業の柱として、多角的に取り組み活動しています。

### ③その他

交流会などを通じて会員同士の情報交換会や施設見学会など研鑽の機会を設けています。

す。昨年度は10人の学生に、奨学生を給付しました。

②「フロンティアサロン」を通じ、「開かれた大学」としての機会を創出

フロンティアサロンは、本学の卒業生や教員が得た経験や知的財産を本会の産官学共同事業として在学生や大学関係者、一般向けに提供する講座として開講しています。

## 会員募集中

■ 神奈川大学フロンティアクラブ

### 会員募集中

▽募金目標額 3億円  
・個人寄付金目標額 1億円(10,500,000円から)  
・企業・法人等寄付金目標額 2億円(金額は定めない)

・募金の使途  
スポーツ施設整備として、合宿所建設等に活用する。

・返礼品  
2025年11月から  
2029年3月31日まで。

駅伝チームの合宿所が中山キャンパスに誕生します。皆さまのご支援、よろしくお願いします。



フロンティアサロン開催の様子



### フロンティアクラブ入会のご案内

本会は会員制のクラブであり、入会には条件があります。  
詳細はQRコードから会則をご確認ください。

#### ▼入会に関するお問い合わせは

学校法人神奈川大学総務部校友課  
電話045(481)5611代表  
メール kufc-frontier@kanagawa-u.ac.jp



# 卒業生の声

原稿を募集中  
(詳細は15頁)



多くの卒業生から  
さまざまな声をお寄せいただきました。

学生時代が

よみがえ  
甦つた

1966(昭和41)年 経済学部貿易学科卒業  
山形県 和田 英光(82歳)

横浜みなとみらい地区の高台にあるチャペルにて姪の結婚式があり、久し振りに訪れた山下公園…。私の脳裏に学生時代の思い出が甦った。今思えば大学の先輩に連れられ、大学には内緒で英会話の勉強になるからと徹夜で行つた横浜港での沖仲士のバイト。また高台にある「港の見える丘公園」…。見下ろす横浜港からの船の汽笛は、これぞ横浜の感があった。

母校を卒業して60年が過ぎたが、大学関係者を招いて山形県内で毎年開催される同窓会への出席を楽しみにしている。明年的箱根駅伝!!出場出来ることを願いながら。

後の横浜を象徴するこの地区に、母校の新キャンパスが誕生したことは嬉しいかぎり!!山形県出身の兼子元学長が、林前横浜市長としつかりと取り決めをされたことに、心からの敬意を表したい。この新キャンパスは大学を目指す若者たちに人気があると聞く。

神奈川大学ここにあり!!母校、神奈川大学の発展を心から願うばかりである。

懐かしい  
神奈川大学の思い出

1964(昭和39)年  
工学部工業経営学科卒業  
三重県 森田 寛(83歳)

神大入学の動機は他校に比べて授業料が安いこと、全国に2校しかない「工業経営」と言う学科に魅せられたことでした。

入学早々、OBから入部の勧誘を受け、酒を飲まされたものでした。

教養過程の1・2年生は「宮面寮」での生活、全国からの友とすぐ仲間になりました。

いじめられました。

そして、3・4年生の専門過程は横須賀線の保土ヶ谷に移つての下宿生活に入りました。2才違いの弟は3年生の時、貿易科に入学してきました。

特筆すべき事は、入学早々の「60年安保闘争」に突入して、大学は大ゆれ多くの友が東大を目指して参加しており、連日休講にうんざりでした。

専門過程の3年に入つて「日立製作所」への工場での研修は有益でした。機械製図は苦手でよく友の協力を求めたものです。

「熊坂ゼミ」に入つて先生のご指導のもと、わからない時よく「有隣堂」に行って調査したものです。卒業制作は「タオル工場に於ける稼働率調査」でありました。

最後に、3年後100周年の母校へ、限りなき情熱を期待してやみません。頑張つて参りたく思います。

「横浜生まれ・横浜育ちの家内は長閑で温かな和歌山県を想像してい

たようですが、初めて紀伊山脈の峠(大阪府との県境)を超えるとき、車窓から見える延々と続く山の風景に「これから暮らす生活に一抹の不安を感じたようですが、美しい「紀の川」の流れを見て嬉しく、ホットしいだものです。

この頃、頭髪に白い物が多く見え るようになり、関西弁の使い方も上手になりました。三人の子供たちは独立し、元気な声が聞こえなくなりました。

た我が家ですが、二人でもう少し頑張ります。

古いカーデイガン

和歌山県 岡村 光惟(88歳)

1961(昭和36)年法経学部法学科卒業

毎年、朝夕寒さを感じるようにな

る」と筆筒の奥から結婚前家内から貰った洒落た小豆色の毛糸で編んだカーデイガンを出して着始める。今まで59年になる。袖の肘の当たる箇所とか、ボタン留めの箇所が少し痛





## 昭和40年代の 学生アルバイト

広島県 中村 利夫 (78歳)

1971 (昭和46) 年法学部法律学科卒業

神大生 (昭和42年から46年) の頃に、東京都内 (東京出身) で行つた学生アルバイトについて述べたい。

### ◇伊勢丹デパート (新宿)

伊勢丹デパートの荷下ろし商品を、カートで各階に運ぶアルバイトを行つた。カートで運び終ると、その都度、管理者に捺印を貰うシステムであった。特に、食器類のある階に多く足を運んだ。そこにはすてきな店員さんがいて、毎日、口をくのが楽しみだった。社員食堂でも一緒になつて心が躍つた。

### ◇ニュー東京 (新宿)

ニュー東京のビアガーデン (伊勢丹デパートの屋上) でアルバイトを行つた。ビールジョッキを両手に持つて店内を歩き回つた。フロアがビールで濡れて滑るので、ズック靴 (運動靴) が必需品であつた。ビールジョッキの残りものは、口にしてはならない決まりがあつた。ビールジョッキの中でタバコを消したものは色の区別が出来ないので、それを口にすると肝臓を遣られるとのことであつた。毎日、アルバイトの終りに近くの深夜食堂に入つて、乾杯し、



御苦労さん会を行い、終電で帰路についた。

### ◇NHK会館 (代々木)

NHK会館で事務補助のアルバイトを行つた。NHK受信契約者の把握業務の仕事で、目が相当疲れた。

他大学の学生も来ていて、話が弾み、その中の一人とアルバイト後にデートした。NHK会館でテレビでしか見たことがないスターに出会えたことは衝撃であつた。オーラが凄く、圧倒された。NHK会館の社員食堂は、綺麗で、安く、美味しかつた。

### ◇東光ストア (高円寺)

クリスマスセールおよび歳末大売出しのアルバイトを行つた。ジングルベルの歌が流れる店内で、サンタの恰好をして、クリスマスケーキを大声で売つた。クリスマスケーキの売上げ具合によつて割増手当が付いたので、大いに張り切つた。お正月の歌が流れる店内で、正月の主力商品の餅とみかんを大声で売つた。大晦日は、打上げがあり、大いに盛り上がり年末のアルバイトを終えた。

### ◇ニュー東京 (新宿)

ニュー東京のビアガーデン (伊勢丹デパートの屋上) でアルバイトを行つた。ビールジョッキを両手に持つて店内を歩き回つた。フロアがビールで濡れて滑るので、ズック靴 (運動靴) が必需品であつた。ビール

ジョッキの残りものは、口にしてはならない決まりがあつた。ビールジョッキの中でタバコを消したものは色の区別が出来ないので、それを口にすると肝臓を遣られるとのことであつた。毎日、アルバイトの終りに近くの深夜食堂に入つて、乾杯し、



## 半世紀ぶりの 同窓会を開催

和歌山県 浦 晴雄 (76歳)

1972 (昭和47) 年  
工学部機械工学科卒業

大学卒業後52年ぶりに昭和47年卒業の体育会少林寺拳法部の同窓会を

本年5月17日、神大箱根保養所で行つた。昨年、同窓生から「もう最後になるかもしれない同窓会をしよう」という声が上がり、計画することになつた。

当時、同年部員は11人。互いに連絡を取り合つてゐる者や卒業後連絡が途絶えている者などもいて、どのように連絡するかが課題だつた。11人中1人は鬼籍に入り、3人とは連絡が出来ず、1人は仕事の都合で不参加。その結果、6人での同窓会となつた。

半世紀ぶりのことであり、どのように容姿が変わつたか、卒業後どう過ごして來たか、現在はどうして

いるかなど、同窓生との会話を楽しんでいた。会つてみると学生時代と容姿は変わつてゐたものの、少し会話が弾むと昔の面影が残つており、食事中や食後の部屋での会話では、当時の練習や夏の厳しい合宿、学園紛争中の部活動など、思い出話や現在の持病・薬・体調管理など

時間がいくらあつても会話が尽きない状況だつた。

翌朝、「機会があればいつかまた、同窓会を開きたい」と言つて別れた。

ただ、連絡の取れない方をどう調べるかが課題です。ご存じの方は宮陵会事務局までご連絡ください。

少林寺拳法部は2019年に廃部になつたとのこと。当時の活発な部活動から考えると残念でなりません。いつか機会を見つけ再興されることを期待しています。



左から山口、本人、平井、森、大木、田原の各氏 (神大箱根保養所)



## 懐かしの商店街

栃木県 志村 雄偉 (42歳)

2007(平成19)年経済学部貿易学科卒業

神奈川大学を卒業して、もう20年近くが経ちます。学生の皆さんもご存じの「六角橋商店街」は、今でも懐かしく思い出されます。どこか昭和の面影を色濃く残す、温かみのある商店街でした。

アーケードの下には、老舗の惣菜店や八百屋、洋品店などが軒を連ねており、お店の方とのやり取りには人情が感じられました。「顔の見える商い」という言葉は、まさに六角橋商店街のためにあるのではないかと思うほどです。惣菜店では、当時金銭的に余裕のなかつた私に、コロッケをサービスしてくれたことをよく覚えています。また、月に一度開催される「ドッキリヤミ市場」は商店街の名物イベントで、夜には音楽ライブやダンス、大道芸などが繰り広げられ、多くの人で賑わっていました。私も何度も足を運び、楽しませていただきました。

神奈川大学の学生たちや地元の方々が世代を超えて交流する場としても機能しており、人情と文化が共存する六角橋商店街は、私にとって「ぬくもり」を感じさせてくれる貴

重な場所です。平成の時代から続くこのシンボルイベントは、令和7年4月から「六角橋ヤミ市」と名称を変更したそうです。

六角橋商店街を訪れる機会がめっきり減ってしまいました。ですが、イベントの名称変更を知り、ぜひまた足を運びたいと思っています。六角橋商店街は、私の学生時代を語るうえで欠かせない場所です。当時の記憶が、きっと色濃くよみがえることでしょう。

アーケードの下には、老舗の惣菜店や八百屋、洋品店などが軒を連ねており、お店の方とのやり取りには人情が感じられました。「顔の見える商い」という言葉は、まさに六角橋商店街のためにあるのではないかと思うほどです。惣菜店では、当時金銭的に余裕のなかつた私に、コロッケをサービスしてくれたことをよく覚えています。また、月に一度開催される「ドッキリヤミ市場」は商店街の名物イベントで、夜には音楽ライブやダンス、大道芸などが繰り広げられ、多くの人で賑わっていました。私も何度も足を運び、楽しませていただきました。

神奈川大学を卒業して、もう20年

真伊藤隆之 X-KnowLedge)が出版されました。また、「あめりか屋 HISTORY-100年の道のり」(株式会社あめりか屋)にも寄稿されています。(内田さんは現宮陵会会長)

（賞品）

①神奈川大学箱根保養所1泊2食付きペア宿泊券／3名

（W1105×H400）／10名

（応募方法）  
「ご希望の方は、はがきに希望の賞品（①か②）、名前、郵便番号、住所、電話（携帯）番号（またはメールアドレス）、卒業年・学科、今朝「宮陵会報」121号」の感想を書いて、  
〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1、  
神奈川大学宮陵会「読者プレゼント係」  
までお送りください。

### 【宮陵】(No.75号)の「卒業生の声」の投稿をお持ちしております。

▼発行 2026(令和8)年4月中旬

▼体裁 A4判、64頁(予定)

▼部数 60,000部

▼字数 6000字程度。テーマは自由。郵便番号、住所、氏名、年齢、卒業年・学科、連絡先（原稿の確認が必要な場合のメールアドレス、携帯電話などを明記）

▼締め切り 26(令和8)年2月20日(金)。掲載分には記念品をお贈りします。

原稿は一部手直しする場合があります。

▼送付先 〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋3-27-1、  
神奈川大学宮陵会「宮陵No.75号」係。

郵送またはメールで。  
メールアドレス  
kyuryou-kohou@kanagawa-u.ac.jp

（締め切り）  
2026(令和8)年1月31日(土)

＝消印有効。当選者（抽選）の発表は、賞品の発送（2月中旬）をもつて代表させていただきます。

（締め切り）  
2026(令和8)年1月31日(土)  
＝消印有効。当選者（抽選）の発表は、賞品の発送（2月中旬）をもつて代表させていただきます。

（締め切り）  
2026(令和8)年1月31日(土)  
＝消印有効。当選者（抽選）の発表は、賞品の発送（2月中旬）をもつて代表させていただきます。

### ■ 本の紹介

卒業生で現神奈川大学建築学部特任教授（工学博士、前建築学部長）の内田青藏さんの本「鎌倉の名建築をめぐる旅」（内田十中島京子 X-KnowLedge）、

「住まいの建築史近代日本編」（内田大和ハウス工業総合技術研究所）、「日本本の美しい洋館」（監修 内田、写

### 情報をお寄せ下さい

国内外で活躍している卒業生の情報や話題などお寄せ下さい。  
また、宮陵会掲示板への掲載希望原稿（必ず連絡先や卒業年・学科、名前を書いて）もお寄せ下さい。『宮陵会報』や『宮陵』で紹介します。（宮陵会広報委員会）



### 読者プレゼント

（賞品）  
①神奈川大学箱根保養所1泊2食付きペア宿泊券／3名

（W1105×H400）／10名

（応募方法）  
「ご希望の方は、はがきに希望の賞品（①か②）、名前、郵便番号、住所、電話（携帯）番号（またはメールアドレス）、卒業年・学科、今朝「宮陵会報」121号」の感想を書いて、  
〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1、  
神奈川大学宮陵会「読者プレゼント係」  
までお送りください。

# 第102回 東京箱根間往復大学駅伝競走応援ガイド 1月2・3日

## 神大駅伝チームへ一緒に熱い声援を送ろう !!

### 【沿道での応援について】

- ◎有志応援に参加してくださる方は、各区間に設定した応援ポイントと一緒に応援してください。各応援ポイントは大学ののぼりが目印です。
- ◎各応援ポイントには通過予定時刻を記載してあります。参考にしてください。  
★は重点応援ポイントです。
- ◎沿道での応援には、選手通過予定の1時間以上前からの応援禁止等、様々な制約があります。当日は必ず大会スタッフの指示に従ってください。
- ◎スタート地点・ゴール地点において、チアリーディング部と管弦楽団による応援活動を行う予定です。

### 神奈川大学HP&SNSをチェック!

Access!

神奈川大学駅伝サイト <https://ekiden.kanagawa-u.ac.jp/>

上記URLにアクセスしてください。当日、選手の速報をお伝えします。



エキデンサイト



Facebook



大会当日はもちろん、大会前から様々な情報をホームページやSNSで配信しています。

### 東京大手町・読売新聞社前

●往路  
スタート予定時間  
**8:00**

●復路  
ゴール予定時間  
**13:21**



#### 第1区

大手町▶鶴見 21.3 km

#### 第2区

鶴見▶戸塚 23.1 km

#### 第10区

鶴見▶大手町 23.0 km

### 鶴見中継所

市場大和町歩道橋

—予定時間—

往路 **9:01**

復路 **12:13**

皆さんの熱い応援が選手たちの力になります!!  
ご声援よろしくお願いします!!



#### 第5区

小田原▶箱根 20.8 km

### 小田原中継所

鈴廣前

—予定時間—

往路 **12:10**

復路 **8:57**

※南区宮陵会  
※保土ヶ谷・旭区宮陵会  
※三浦半島宮陵会

③保土ヶ谷駅前  
往路 / 9:30  
復路 / 11:40

①八丁畷  
往路 / 8:55  
復路 / 12:15

②東神奈川駅東口  
往路 / 9:15  
復路 / 12:00

※神奈川・鶴見区  
宮陵会  
※町田宮陵会

⑨国府津駅前大磯寄り  
往路 / 11:40  
復路 / 9:25

※秦野市宮陵会

⑤遊行寺  
往路 / 10:25  
復路 / 10:50

※藤沢宮陵会

④矢沢合流地点  
往路 / 10:00  
復路 / 11:15

※戸塚・栄区宮陵会

⑥高砂歩道橋  
往路 / 10:30  
復路 / 10:45

※平塚市宮陵会

⑧湘南海岸公園付近  
往路 / 11:00  
復路 / 10:15

※平塚市宮陵会

⑦茅ヶ崎第一中学校前  
往路 / 10:45  
復路 / 10:35

※茅ヶ崎市宮陵会

#### 第1区

大手町▶鶴見 21.3 km

#### 第2区

鶴見▶戸塚 23.1 km

#### 第10区

鶴見▶大手町 23.0 km

#### 第9区

戸塚▶鶴見 23.1 km

### 戸塚中継所

古谷商事前

—予定時間—

往路 **10:07**

復路 **11:04**

### 箱根・芦ノ湖 入口駐車場前

●往路  
ゴール予定時間

**13:21**

●復路  
スタート予定時間

**8:00**

### 平塚中継所

唐ヶ原交差点

—予定時間—

往路 **11:09**

復路 **10:00**

### 応援マナーを守りましょう!

#### 禁止事項

- 脚立を使っての応援は危険ですのでやめください。
- SDGsの観点および他の観客や一般の方への迷惑になることを回避するため、小旗やのぼりの掲示は極力お控えください。
- ガードレールや橋など、沿道公共物への横幕、旗、のぼり等をくくりつけることはできません。
- 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援はできません。
- 混雑緩和と、応援者の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後100m以内では出場校を示す物は掲出できません。  
例)校旗、部旗、その他、大学を標示する横幕、旗、大学新聞の配布等。
- 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
- ペットをお連れの方は道路に出ないよう、ご配慮ください。
- 選手は歩道寄りギリギリを走ってきますので、歩道から手を出したり身体を乗り出しての応援は危険です。
- コース周辺での無人飛行機(ラジコン、ドローン)の操縦、飛行、自撮り棒の利用はできません。